

STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社中学・高等学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

さようなら留学生

4月はじめから約一ヵ月、オーストラリアとタイの姉妹校からの交換留学生が滞在しました。年度初めの慌ただしい時期でしたが、留学生たちは、ホストファミリーやクラスメートと温かい交流をすることができました。日本語の上達をするには短すぎる期間ですが、さまざまな活動を通じて、日本の文化や習慣の体験をすることができました。5月2日(月)に行われた修了式でのスピーチを紹介します。なお、オーストラリアのセントパトリックスカレッジからの留学生、トーマス君は、7月の同校からの短期ホームステイプログラムに参加し再来日する予定です。



またいつか、会いたい

P22 Kirra Marsden (キラ)

出身:姉妹校 St. Patrick's College (オーストラリア)

期間:2016.4.10 ~ 5.6 キラ

ホスト姓: ① I21 東 七海 ② I21 杉本亜沙香

みなさん、こんにちは。まずはじめに、みなさんに「ありがとう」をつたえたいです。生徒のみなさん、先生、ホストファミリーのみなさん、ありがとうございました。

この1か月は わたしのじんせいの中で、いちばんのものになりました。

この1か月で、わたしのちしきはひろがり、日本文化を、いままでよりもっと、りかいすることができました。

また、もっと日本語をがんばってべんきょうし、もっと話せるようになって、もどってきたいと思うようになりました。

たくさん、友だちもできました。またいつか、みんなに会えるのがたのしみです。

ホストファミリーには、長い間、わたしのめんどろを見てくれて、ありがとうございます。すてきなおもてなしをしてもらって、本当に、うれしかったです。わたしの本当の家族のようなきもちになりました。わたしのオーストラリアの家にも、ぜひ、来てください。

また、この学校の先生たちは、すばらしかったです。いろいろ、たすけていただいて、ありがとうございます。



ございました。

さいごに、留学生のみんな、季さん、ケンヤ、トム、プロイ、クラウドシアに「ありがとう」をつたえたいです。たくさんの、たのしい思い出ができて、オーストラリアの家族や友だちにつたえるのが、たのしみです。

オーストラリアと日本は、まったくちがいます。日本のすばらしい文化を知ることができて、よかったです。ありがとうございます。みなさん、おげんきで。

すばらしいもてなし

P23 Thomas De Ruyter (トーマス)

出身:姉妹校 St. Patrick's College (オーストラリア)

期間:2016.4.10 ~ 5.6

ホスト生徒: G38 岡田 康希



みなさん、こんにちは。ぼくの留学を、すばらしいものにしてくれたみなさんにかんしゃしています。

みなさん、とてもやさしくしてくれて、ぼくが、日本語をわからないときも、しんせつにしてくれました。この留学ちゅうの1か月は、ぼくの人生の中でも、いちばんの思い出となりました。よそうしていたよりも、たくさんのお話を、まなびました。

友だちもたくさんでき、またみんなに会いたいとおもっています。

ホストファミリーには、とくに感謝をつたえたいです。とてもしんせつにしてくれて、すばらしいもてなしをしてくださいました。ぼくのオーストラリアのいえにも、いつでもあそびに来てください。

また、いっしょにすごした、ほかの留学生たちにも、たのしいけんを、いっしょにできたことに、感謝しています。

日本は、とてもうつくしい国です。またぜったいに、もどってきたいです。

ありがとうございます。



トーマスの描いたヴォーリス先生

思いがけないことばかり

I21 Kenya Wongpaiboon (Kenya ケンヤ)

出身:姉妹校 Roong Aroon School (タイ)

期間:2016.4.5 ~ 5.8

I31 平井シーナ



私はこんなに1か月が短いなんて、思いませんでした。そして、ホストファミリーがすぐくめんどうをみてくれるとは思いませんでした。私は家族の一員と感じ、私は、おとうさん、おかあさんのむすめで、みつきとシーナちゃんのきょうだいでした。そして、先生や生徒のみんなが私にやさしくしてくれるなんて思いませんでした。たくさんの友だちができるということもありませんでした。日本語がこんなに上達するとも思いませんでした。1か月、ひとりだけがいくですごくすということとはとてもながくかんじるかもしれません。

私は、はじめての学校の日、おそらくこの1か月がむずかしくなると思っていました。なぜなら、私はだれのことでも知らず、かれらがなにをいっているのかもわからなかったし、私がなにをいっているのかも、わからなかったからです。好運にも、日本についたとき、とてもやさしいおとうさんとおかあさん、そして、最高のホストシスターにであうことができました。かれらが、私を家族のいちいんとしてあつかってくれたことに、とても感謝をしています。好運にも、学校二日目のとき、何人かの人があたたかく、「おはよう」といってくれました。昼休みのとき、何人かの人が、私のなまえをよんで一緒にご飯を食べてくれました。そして、学校が終わったとき、何人かの人が私に「バイバイ」をいってくれました。嬉しかったです。二、三日後、私の机のまわりにいる人たちが話しはじめました。おどろいたことに、私たちはとてもなかよくなりました。かれらはいつも教科書を私に見せてくれたり、こまわいるときに、私をたすけてくれました。かれらはいつも私に、「次のじゅぎょうはなに？」ときいてきました。私が、「あなたたちといっしょ」とこたえようと、かれらは、「やった！」といってくれました。私の日本語がへたでも、かれらはいつも私とたくさんはなしてくれました。かれらは私がかいできるよすがにがんばってくれました。みなさんと一緒にすごしたこの1か月は、短くかんじました。

時がたつのは、ほんとうに早いです。私はまだ、タイに帰りたい気持ちになりません。けれど、帰らなければなりません。私はもっと、あなたたちのこ

とを知りたい。もっと、一緒にいたい。私はあなたたちとずっとれんらくをとっていたいです。そして、いつかまたあえるとのぞんでいます。今までありがとうございました。

すばらしい思い出

131 Natnichar Suetrong (Ploy プロイ)
出身：姉妹校 Roong Aroon School (タイ)
期間：2016.4.5 ~ 5.8
I21 向井 万貴



こんにちは、みなさん。わたしはみなさんに「どうもありがとうございました」とつたえたいです。これから、この1か月のことをはなします。私ははじめて、滋賀にきました。わたしはタイの文化と、日本の文化がちがうと思います。でも、日本の文化はぜんぶおもしろかったです。

毎日、私はきんちょうして、登校していました。なぜなら、日本語と英語をはなさなければならず、わたしはすこしはづかしがりやだったからです。

でも、みんなは、やさしくしてくれて、わたしは、たのしかったです。また、私は、日本語や、文化や、生活をたくさん、べんきょうしました。私はみんなともっと話したかったし、あそびたかった。1か月は、すぐにおわってしまいました。この1か月、ありがとうございました。みんなと、おべんとう食べたり、べんきょうしたり、ゲームやえんげきをしたこと。私はしあわせです。みんなのこと、ずっとおすれませぬ。

近江兄弟社高校のみなさん、ありがとうございました。せんせい、ありがとうございました。I31のみなさん、ありがとうございました。ホストファミリーの向井さん、ありがとうございました。とてもすばらしい、思い出ができました。どうもありがとうございました。



ただ今留学中

短いアメリカの春休み

S25 片岡 誠之朗

AYUSA 留学

留学先：Patrick Henry High School (アメリカ・ミネソタ州)

期間：2016.1.13 ~ 6.13



4月の半ばに入り、家の周りにやっと花が少しだけ咲き始め、気温も上がりだして外で遊べるようになってきました。ホ

ストファミリーと庭で食事をしたり、友達と公園へ行き、バスケットボールやテニスをしたりと楽しいことがとても多いです。

今月の初め、春休みがありました。アメリカでの春休みは1週間ほどで、その間部活などは一切なく、まだ外に出るには寒いので、一日中家にいて、とても暇なのが普通だそうです。僕も春休みの半分以上は家で、テレビを見たり、勉強をしたりして過ごしました。アメリカのチャンネルもとても多く、150局ほどあり、中にはNASAのチャンネルもあります。ほかに、NHK、Disneyなどのチャンネルもあります。中でも映画のチャンネルはとても多く、夜には4本ほどの映画が同時に放送されています。そのため同じ映画を何度か見ることも多いのですが、日本ではまだ放送されないような新しい映画も見られるので、とても面白く充実しています。

春休みの間に、友達とMall of Americaに行きました。このMallは世界で二番目に大きいMallで、円状に並んでいる店舗の真真中にジェットコースターなどを備えたテーマパークがあります。僕たちはそのゲームセンターへ行き遊びました。初めにコインを買い、遊んだゲームの記録に応じてカードが得られます。そのカードの枚数を換算して、最後に景品をもらえるという仕組みになっています。ゲームセンターで一番人気だったのが、バスケットボールのゲームでした。30秒以内に何度ゴールを決められるかというものです。僕も挑戦してみましたが、意外と難しく、まったくうまくいきませんでした。一緒に行った友達にも負けましたが、何枚かカードをもらったので良かったです。

今月はまた、友達と留学生の誕生日パーティーがありました。その留学生が通っている学校にはたくさん留学生がいると聞いていたため、その人たちにも会える機会なのでとても楽しみにしていました。その日、僕は、二人の留学生と出会いました。一人はイタリア人で、もう一人がチェコ人で、ふたりとも女の子でした。その他にもパーティーに呼ばれている人は男女合わせて15人程度でした。その人たちと庭で野球や、キックベース、ドッジボールなどをして遊びました。野球などのルールはかなりあいまいでしたが、とても楽しかったです。他にも

アメリカの遊びをいくつかやりましたが、タックルなど、ぶつかることの多いものだったので、とても痛かったです。アメリカでは、男女の分け隔てがほとんどないため、すべての遊びを全員で楽しんでいました。オープンな人たちばかりで、とてもしゃべりやすく、楽しかったです。

台湾・明倫高級中学校との交流会



5月16日(月)、台湾の台北市にある市立明倫中学校から生徒38名、先生3名が本校を訪れました。

前回は、2014年5月に同様の訪問があり、今回で2度目です。また、2015年10月に、単位制2回生の海外研修旅行で同校を訪問し、交流をしました。

午後1時過ぎに学園前にバスで来た一行は、単位制2回生の2クラスの生徒達に迎えられ、礼拝堂での歓迎セレモニーに出席しました。セレモニーの冒頭で箏曲部の琴の演奏が披露されました。

そのあと両校の校長、生徒代表の挨拶があり、また台湾の生徒達の歌とダンスが行われました。生徒実行員による本校紹介があり、みんなでクイズ大会を楽しみました。

さらに、希望館のフードサイエンスに移動し、日本のスイーツ(わらび餅と団子)を班に分かれて一緒に作る機会を持ちました。ジェスチャーや英語でコミュニケーションをとりながら、それぞれの班でスイーツを作り、みんなで味わいました。7限目は、エクステンションセンターに場所を移し、中国語講座を履修している121クラスの生徒達との交流活動が行われました。

未来につなげる交流を

台湾台北市明倫高級中学校

校長 曾美蕙(そびけい)



近江兄弟社高等学校の藤澤校長先生、先生方、生徒の皆様、こんにちは。

再び貴校と交流でき、とても嬉しく思います。皆様から熱烈に歓迎をいただき、心から感謝しております。近江兄弟社高等学校は、人間が持つ諸資質を、全面的、調和的

に育成しようとする教育の学校と承知しております。藤澤校長先生は、人間は学習によって生活を豊かにする、学習の最終目標は人々を幸せにすると仰っていました。これは、我が校の「幸せの学習の学園を作ろう」という理念と一致しています。学校と

もう日常会話はほとんど問題がなくなってきました。残りの時間でさらに英語力を伸ばしていきたいです。そして、あと一か月と少しの留学の期間を精一杯楽しんで、たくさんの経験をして帰りたいと思います。

学校の相互訪問は、2年前から行われてきました。共通の教育理念に基づき、生徒たちは非常に良好な交流をすることができ、また多くの事を学ぶことができます。

明倫高校は台湾の台北市に位置し、普通科の一般的な高校です。学校の教職員は、約160名、生徒は約1,700名です。今回貴校を訪問するのは2回目になります。多様な活動体験をするだけでなく、もっとたくさんの日本の友人ができますようお願いしております。お互いに分ち合い、さらに交流を深め、未来につなげられることを望んでおります。

最後になりましたが、本日のイベントがうまく進みますように、そして近江兄弟社高等学校のご発展と、先生方と生徒さんのご多幸をお祈り申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。



受け入れ予定

5月31日(火)、6月1日(水)の2回に亘って、アメリカの大学生12名が本校を訪問し、高校生・中学生と交流します。5月31日(火)5~6時間目 ICC2年生と交流、6月1日(水)11:00~11:40 中学の英語暗唱の練習などが予定されています。

大学生の所属する Calvin College は、アメリカミシガン州グランドラピッズ市にある、1876年創立の私立の大学です。学生数は、約4,000名。そのうち約1割は留学生です。姉妹校 Grand Rapids Christian High School との関係も深く、同校から進学する生徒も数多くいるようです。短期留学でグランドラピッズに行った生徒達は、毎年同大学を訪れ、日本語を勉強している学生と交流する機会を持っています。

今回、大学の先生が日本への研修旅行を計画され、名古屋、滋賀、京都、奈良、大阪、広島などで研修します。その途中に近江八幡に1泊し、本校を訪問することになりました。

